

JLAC11 測定法コード 適用細則(案)

1. 主旨

- ・測定法コードは、JLAC 検査名称(12 桁)に対応した固有コードとする。
- ・試薬添付文書に記載されている測定法を採用するが、専用装置用試薬については、必要に応じ試薬名称を用いる。
- ・測定法分類は、医師会など一般的な外部サーベイに使用している分類を参考にする。

2. 測定法コード付番について

- ・測定法コードとして3桁を使用するが、将来性を考慮し、2桁運用とする。
- ・先頭の1桁目は、“0”をセットし、後2桁を使用する。
- ・測定方法を追加することを考慮して、“その他の測定法”のコード番号は“099”とする。

3. 測定法コード運用ルールについて

1) 末梢血液一般検査

- ・測定機器別の分類とする。

JLAC検査名称	測定方法	
末梢血液一般検査	セルダイン3200	001
赤血球数(RBC)	セルダインサファイア	002
白血球数(WBC)	セルダインルビー	003
ヘモグロビン(Hb)	ADVIAシリーズ	004
ヘマトクリット(Ht)	KX-21、21N、21NV	005
平均赤血球容積(MCV)	K-4500	006
平均赤血球ヘモグロビン量(MCH)	XE-2100、2100L、2100D、5000	007
平均赤血球ヘモグロビン濃度(MCHC)	XT-2000i、1800i、4000i	008
血小板数(Plt)	pocH-100i、100iV	009
	XS-1000i、800i、500i	010
	XN-1000、2000、3000、9000	011
	XP-100、300	012
	MAXM、HmX、LH500	013
	LH700シリーズ、LH785	014
	ユニセル DxH600、800	015
	PENTRA60、80、XL80	016
	LC-660、661	017
	MEK-6108、6208、6308	018
	MEK-6318、7222	019
	MEK-8222、6400、6420	020
	その他	099

2) 汎用機で測定する項目

- ・測定原理にとらわれず、測定値に影響を与える因子を考慮して分類する。
- ・可視光、UV 測定 → 試薬の組み立て方で分類する。
- ・標準化対応法について明記する。

(例:AST)

JLAC検査名称	測定方法	
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	JSCC標準化対応法 (MDH UV法)	001
	IFCC標準化対応法 (MDH UV法 (PALP添加))	002
	ドライケミストリー法 (ビトロスJ)	003
	ドライケミストリー法 (富士ドライケム)	004
	ドライケミストリー法 (スポットケム)	005
	その他	099

- ・校正用基準物質が定められている標準化対応法にあって、アイソザイムが存在する項目や基質違いの測定系は別分類とする (例: アミラーゼ、コリン、等)

JLAC検査名称	測定方法	
アミラーゼ	JSCC標準化対応法	001
	非修飾オリゴ糖比色法 G-3CNP	002
	修飾オリゴ糖比色法 B-G-5PNP ベンジル-G-5	003
	修飾オリゴ糖比色法 Az-G-5CNP 6-アジ化-G-5	004
	修飾オリゴ糖比色法 E-G-7PNP 6,4-エチリデン-G-	005
	Gal-G-5CNP	006
	Gal-G-5PNP	007
	Gal-G-2CNP	008
	ドライケミストリー法 (ビトロス)	009
	ドライケミストリー法 (ビトロスJ)	010
	ドライケミストリー法 (富士ドライケム)	011
	ドライケミストリー法 (スポットケム)	012
	その他	099

3) 専用装置による測定項目

- ・試薬名で分類する。(凝固線溶因子、腫瘍マーカー、内分泌項目等)
- ・試薬名の分類となるため、WHO の標準品を校正用基準物質名や EIA 等の区分けはしない。

(例: 血液凝固検査)

JLAC検査名称	測定方法	
PT (プロトロンビン時間)	ヒーモスアイエル リコンビラスチン	001
PT-秒	ヒーモスアイエル PT・フィブリノゲン HS Plus	002
PT-コントロール	ヒーモスアイエル PT-フィブリノゲン	003
PT-活性	ドライヘマト PT	004
PT-指数	コアグサーチ PT	005
PT-比	ニコプラスチン	006
PT-INR値	シンプラスチン エクセル	007
PT-ISI値	シンプラスチン エクセルS	008
	シンプラスチン HTF MDA	009
	トロンボレルS	010
	トロンボプラスチン・C プラス	011
	トロンボチェックPT	012
	トロンボチェックPTプラス	013
	デイド イノビン	014
	コアグピア PT-N	015
	STA試薬シリーズ PT	016
	STA ネオプラスチン R	017
	ロシュ PT テストストリップ	018
	INRatio テストストリップ PLUS	019
	その他	099

(例: 腫瘍マーカー)

JLAC検査名称	測定方法	
癌胎児性抗原 (CEA)	アーキテクト・CEA	001
	エクルーシス試薬 CEA II	002
	ルミパルスプレスト CEA	003
	ルミパルス CEA-N	004
	Eテスト「TOSOH」II CEA	005
	ケミルミ ACS-CEA	006
	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス・イムライズ CEA II 2000	007
	フレックスカートリッジ CEA V	008
	HISCL CEA試薬	009
	ステイシア CLEIA CEA	010
	LPIA・CEAテストS	011
	スフィアライト CEA	012
	アクセス CEA	013
	ピトロス CEA	014
	バイダス アッセイキット CEA	015
	その他	099

4) 汎用装置と専用装置に跨る項目については、測定法を併記する。

JLAC検査名称	測定方法		備考
シスタチンC	ラテックス比濁法	001	汎用
	フレックスカートリッジ シスタチンC V	002	
	N-ラテックス シスタチンC	003	
	Eテスト「TOSOH」II シスタチンC	004	
	その他	099	

5) 抗原・抗体測定系については、使用している抗体の種類などの区別は行わず、試薬名で分類する。

第○世代との記載は行わない。(一部商品名で表記するなど、規定があいまいであるため)

(例:HCV 抗体)

JLAC検査名称	測定方法	
HCV抗体定量	オーソHCV Ab PAテストII	001
HCV抗体定量-測定値	オーソHCV HCV Ab LPIAテストIII	002
HCV抗体定量-判定	ランリームHCV II EX	003
	イムチェック・F-HCV C50 Ab「コクサイ」	005
	アーキテクト・HCV	006
HCV抗体半定量	エクルーシス試薬 Anti-HCV II	007
HCV抗体半定量-測定値	Eテスト「TOSOH」II HCVA b	008
HCV抗体半定量-判定	ルミパルスプレスト オーソHCV	009
	ルミパルスII オーソHCV	010
	ケミルミ Centaur-HCV抗体	011
	HISCL HCV Ab試薬	012
	スフィアライト HCV抗体	013
	ピトロス HCV抗体	014
	BLEIA' 栄研' HCV抗体	015
	エパテストHCVA b	016
	その他	099

6) 感染症検査における定量・半定量・定性の区分けについて

感染症検査においては、定量・半定量・定性の判別が明確でないため、JLAC11 では結果単位での区分を推奨する。

7)その他

測定法が追加される場合は、検査項目に固有する測定法コードの最後尾以降に順次付番する。